

もっとよく知るために

宝塚市 総務部 人権平和室 人権男女共同参画課では、身近に存在する性的(セクシュアル)マイノリティをより多くの人に知っていただくために、LGBTに関連する書籍やDVDの貸し出しをしています。また、「セクシュアルマイノリティ電話相談」も無料でを行っています。

図書・絵本



123 図書:『もっと知りたい! 話したい! セクシュアルマイノリティ1・2・3』
著者:日高 庸晴 発行:汐文社



4 図書:『セクシュアルマイノリティってなに?』
監修:日高 庸晴
発行:少年写真新聞社

DVD



9 DVD:『いろんな性別 〜LGBTに聞いてみよう〜』
10 DVD:『高校生向け人権講座 セクシュアルマイノリティ入門』
発行・制作:新設くチーム企画2011



5 図書:『LGBTQを知っていますか? “みんなと違う”は“ヘン”じゃない』
監修:日高 庸晴
著者:星野 慎二ほか
発行:少年写真新聞社



6 図書:『先生と親のためのLGBTガイド もしあなたがカミングアウトされたなら』
著者:遠藤 まめた
発行:合同出版



7 絵本:『タンタンゴはババアふたり』
作:ジャスティン・リチャードソン&ピーター・バーネル
発行:ポット出版



8 絵本:『わたしはあかねこ』
作:サトシン
発行:文芸堂



11 DVD:『あなたがあなたらしく生きるために ~性的マイノリティと人権~』
企画:法務省人権擁護局 公益財団法人 人権教育啓発推進センター
YouTube「法務省チャンネル」で視聴できます。
<https://www.youtube.com/watch?v=G9DhghaAxl0>



セクシュアルマイノリティ 電話相談

相談は無料です。秘密は守られます。
自分の性や性的指向をはじめ、
さまざまな相談に応じます。

電話番号:0797-71-2136

開設日時:毎週水曜15時~18時
(祝日、年末年始を除く)
* おおむね1人30分程度

対 象:子どもから大人までだれでも、
利用可能です。

今からできること

「ホモ」「レズ」「おかま」「おなべ」などは差別的な意味合いを含む言葉です。また、結婚や出産に関することなどは、無神経な会話と受け取られます。これらは、異性間においても同性間においてもセクハラとなる言葉ですので、使わないようにしましょう。

活動団体

NPO法人
LGBTの家族と友人をつなぐ会

電話: 090-6055-2424
メール: family2006@goo.jp
ホームページ: <http://lgbt-family.or.jp/>

QWRRC(くおーく)

電話・ファックス: 06-6585-0740
メール: info@qwrcc.org
ホームページ: <http://www.qwrcc.org>



お問い合わせ:
宝塚市 総務部 人権平和室 人権男女共同参画課
電話 0797-77-9100
FAX 0797-77-2171
E-mail m-takarazuka0018@city.takarazuka.lg.jp
監修:日高 庸晴(宝塚大学看護学部 教授)



多様なセクシュアリティ(性)

セクシュアリティ(性)の有り様について次の4つを通じて考えてみましょう。

①

身体の性

身体的な特徴や性染色体、生殖腺などによって客観的に判断される性別です。外性器の違いで判断される場合が多いですが、精巣や卵巣の有無、染色体の組み合わせなど、からだの性の違いは目に見えるものだけではありません。

②

性自認(心の性)

自分自身が自分の性をどう捉えているかということです。男性(女性)の身体を持って生まれた人の圧倒的多数が自分のことを男性(女性)と認識しています。しかし、心の性と身体の性が一致せず自分自身の身体に違和感を持っている人や男性でも女性でもないと感じている人もいます。

③

性的指向(好きになる性)

恋愛感情が主にどの性別に向いているかということであり、男性を好きか、女性を好きか、男女両方好きか、あるいは誰に対しても恋愛感情を抱かないといったことです。

④

性別表現(表現する性)

言葉づかいやファッションなどの装いは自分自身がどのように表現したいか、ということです。男らしさ、女らしさは、時代や文化と共に変化します。性自認と性別表現が一致するとも限りませんし、特定の性的指向を持つ人が特定の性別表現をするとも限りません。

LGBTとは

LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取って組み合わせた言葉です。

L

レズビアン(Lesbian)

女性同性愛者

G

ゲイ(Gay)

男性同性愛者

B

バイセクシュアル(Bisexual)

両性愛者

T

トランスジェンダー^{*}(Transgender)

身体の性に違和感を持つ人、生まれたときの性別とは違う性別で生きる人、生きたいと望む人

心の性と好きになる性がはっきりしない人、決めたくなかったり、わからなかったり悩んでいる場合(クエスチョニングと呼びます)や自分を男性・女性のいずれかと認識していない人(Xジェンダー)もいます。最近では、それら様々な性のあり方に

ついて、性的指向と性自認を表すSOGI(Sexual Orientation and Gender Identityの略であり、読み方は『ソジ』)という言葉で用いられることもあります。性的指向と性自認を混同することなく、適切な認識が求められます。

^{*}FTM:トランスジェンダーのうち、女性の身体で生まれ、自分は男性だと感じている人を「FTM(female to male)」と呼んでいます。

MTF:トランスジェンダーのうち、男性の身体で生まれ、自分は女性だと感じている人を「MTF(male to female)」と呼んでいます。

LGBTの人口規模

国内の広告代理店である博報堂が実施した調査によれば、国内LGBTの人口規模は、5.9%(レズビアン1.7%、ゲイ1.94%、バイセクシュアル1.74%、トランスジェンダー0.47%)と

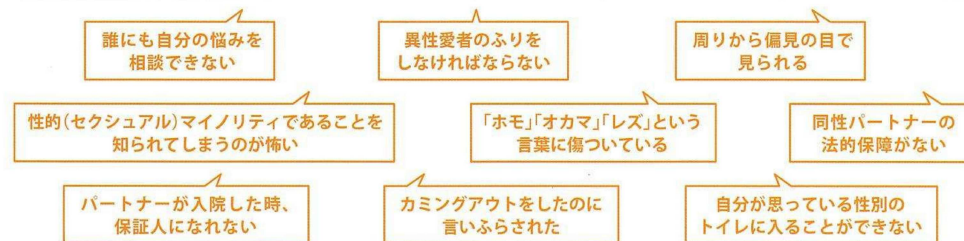
推定されています。学校のクラスに置き換えれば1~2人ということになります。出会っていないのではなく、多くの人が彼らの存在に気付いていないだけとも言えるでしょう。

世の中には、男と女の2種類しかない。異性を愛することが当たり前

本当にそうですか？

これまで性別は、「男」と「女」のどちらかに分けられ、異性を好きになることが当たり前であると考えられてきましたが、「身体の性」「性自認(心の性)」「性的指向(好きになる性)」「性別表現(表現する性)」は人によって違ってきます。例えば「身体の性」が男性で「心の性」が女性ということもあり、その逆の場合もあります。「好きになる性」は必ずしも異性ではありません。セクシュアリティの有り様は実に様々なのです。

LGBTの当事者がこんなことで困っています



多様性(Diversity)が認められる社会へ

宝塚市が掲げる「性的(セクシュアル)マイノリティに寄り添うまちづくり」は、生きづらさを抱えている人たちに寄り添い、誰もが自分らしく生きやすい社会の実現をめざして取り組むものです。

LGBTへの理解を深め、支援の姿勢を示します

- 職員向け研修、市民向け講演会を開催
- 市民団体や企業向けの出前講座を開催
- 性的(セクシュアル)マイノリティ啓発のポスター、リーフレット、レインボーシールの作成
- 公共施設の多目的トイレの表示改善を進め、「どなたでもご利用いただけます」と表示

パートナーシップ宣誓書受領証を交付

多様な生き方を尊重する一つの手段として

市民一人ひとりの人権が大切にされ、多様な生き方を認め合い、誰もが自分らしく暮らせる社会を目指し、同性カップルが行うパートナーシップの宣誓について要綱を定めています。市は同性カップルの宣誓に対して、パートナーシップ宣誓書受領証を発行します。



6色のレインボーカラーは性の多様性を表しています。当事者ではない人が、LGBTに代表される性的(セクシュアル)マイノリティを理解し支援するという考え方を、あるいはそうした立場を明確にしている人々を指す言葉をアライ(Ally)といいます。このレインボーシールは、アライの市職員が身に付けており、講演会等で市民の方へも配布しています。

誤解しないで、LGBTのこと

宝塚市が進める「性的(セクシュアル)マイノリティに寄り添うまちづくり」に対して、市内外から寄せられた主な意見を紹介します。疑問にQ&A形式でお答えします。

Q 同性愛は治療できるの？

A 同性愛は病気ではありません。また、性的な趣味や好みの問題でもありません。世界保健機関(WHO)が「同性愛はいかなる意味でも治療の対象とはならない」と宣言して以来、国もこれを公式基準として採用しています。

Q 家庭や家族、結婚制度が崩壊し、社会の秩序が崩れるのでは？

A 家庭や家族を持つこと、婚姻をすることは、すべての人が自分の意思で決定する権利を持っています。多様な家族の在り方を認め合う社会が求められているのではないのでしょうか。